

松籟

平成28年6月25日 【No. 6】

益田市立西南中学校

自主・自律

誠実・敬愛

忍耐・勤労

○進んで学ぶ生徒

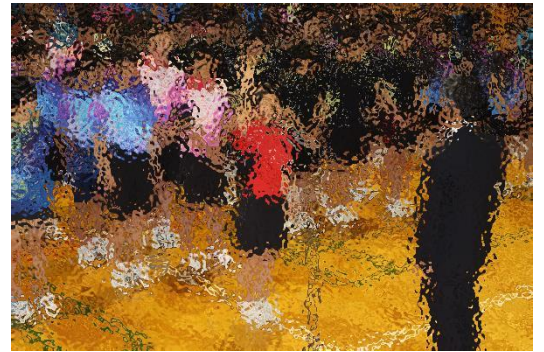
○思いやりのある生徒

○粘り強く頑張る生徒

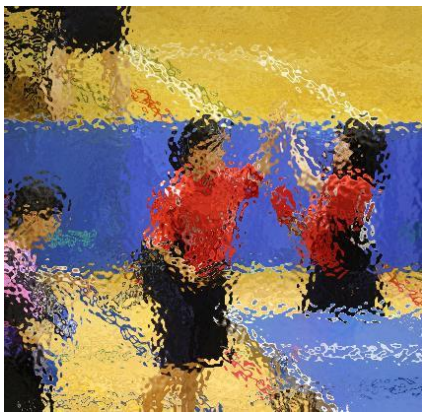
益田市中学校卓球大会終わる

6月7日（火）県大会への出場権をかけて、標記の大会が開催されました。この大会は、県大会への出場権を逃した場合3年生にとっては最後の公式戦となってしまう大会であり、3年間の部活動の集大成となる大会といえます。外はやや小雨でしたが、市民体育館の中は、朝から選手の熱気に包まれていました。

開会式での選手宣誓はチーム毎の順番で今年度は西南中学校が当番でしたので、主将の3年生が行いました。やや緊張した面持ちでしたが、「・・・今持てる精一杯の力を出し切って、中学生らしく正々堂々とプレーすることを誓います。」と力強い言葉で選手宣誓の役を務めてくれました。



当日は西南中学校職員が大会のお世話を担当したので、キャプテンは私の目の前で選手宣誓となりました！！



この大会は11点先取の5ゲーム、3ゲーム先取制で行われました。学年の枠はありませんので1年生が3年生を破ったりする場面もありました。結果として女子ダブルスが2位になり、7月23日に津和野町で行われる県大会への出場権を得ることができました。他の6名も力を発揮しました。2ゲームずつ取り合い、最後の5ゲーム目もデュースの末に敗れた場面もありました。大変残念ながら、6名は県大会への出場権を得ることはできませんでした。しかし、相手に先行されても自分を奮い立たせるために大きな声を出したり、ダブルスでいいプレーが出た時にハイタッチしたり、1点取る毎に仲間を応援したり、西南中の8名が一丸となって闘っていたように思います。外部コーチをお願いしている福場義和さんから「誰も120%のプレーがあったよ。みんなよくやった。」と声をかけていただいたように8名が持てる力をしっかりと出しました。今後の学校生活でも個々の力・西南中の団結力、どちらも一層高めて欲しいです。（詳しくは、別紙『市総体だより』を

ごらんください）

二条ホタル祭のボランティア体験（6月11日）

二条地区の大きなイベントの一つである二条ホタル祭にボランティアとして参加しました。西南中学生徒のおもな仕事はプログラム配布とステージ係（ステージ盛り上げ係？）でした。私も会場に行きましたが、4時のスタート時点に比べるとどんどん来場者が増え、結果的にはおよそ1,600人の来場があったそうです。また、当日だけでなく5月27日（金）には、桂平小学校の児童と合同でホタル会館周辺やWC、道路沿いの清掃活動も行いました。事前・当日ともに、今年も地域の皆さんと一体となり祭りを盛り上げていくことができたと思います。



味覚の授業（6月16日）



今年も津和野町在住の、『ピノ・ロッシ』のオーナーシェフである赤松健二さんに来校いただき、『味覚の授業』を実施しました。文化遺産でもある食文化を子どもたちに伝えるために、1990年にフランスではじまったのが始まりだそうです。日本では21世紀を担う子どもたちに本当に美味しいものを食体験させ、味覚の発達を促し、同時

に食への関心を持たせることや子どもたちに自分達が暮らしている地域には素晴らしい食材がある事を知らせ、地元の食文化・風土に誇りを持たせることを目的に活動しておられます。

『本物体験』。私が常々大切にしたいと思っていることです。生徒にとって『本物を体験する』ことにより、いわゆる一流の技術（スキル）を学ぶことはもちろんですが、実は『本物の考え方を知る』『本物の生き方を知る』などの直接本物と出会うことによってしか体得できないものがあると思います。西南中学校の教育活動においては、『本物体験』を大切にしていきたいと考えています。

三世代交流会（地域公開参観日6月19日）にたくさん来校いただきありがとうございました



今年は、前半の交流授業として、1・2年生との和太鼓学習、3年生との美術（皮細工芸）、そして後半の交流活動としてレクリエーション（ラダーゲッター、クップ、吹き矢）を行いました。和太鼓のご指導をいただいた今福さん、レクのご指導をいただいた



益田市レクリエーション協会の積田さん・又賀さん、大変お世話になりました。後半の交流活動では、生徒は事前にルール説明等を受けサポートすることができたと思います。



梅雨の蒸し暑い日でしたが、校舎・体育館にすがすがしい笑顔や歓声・拍手が溢れたひとときとなりました。（詳細は後日回覧します）